

とことんやろうね！

ほし組 山本雅代

錦江幼稚園で2年目、3年目を迎えた子どもたち34名のほしぐみが、スタートしました。はとぐみの時、入園当初を一緒に過ごした子どもたちが、こんなにしっかりとお兄さん、お姉さんになってるんだなあと驚かされる毎日です。でも子どもたちにとってこの青いほしぐみの名札は、とっても特別なものなのでしょうね。幼稚園で一番大きいお兄さん、お姉さん。うれしい事でもありますが、ドキドキ緊張でいっぱいだったと思います。今、ようやく、その緊張もほぐれはじめ、のびのびと遊び、一人一人のパワフルさが増してきているようです。

ほしぐみになってから一番最初に取りくむことは、お当番のグループとグループ名を決めることです。お休みの人がない日にみんなそろって相談しました。「ぼくは〇〇がいい〜。」「私は△△がいい〜。」と、思い思いに自分の意見を発言していくのです。でも、その意見を一つにまとめるのは、本当にむずかしい事です。みんな真剣に向き合い、とことん話し合う姿に、私は本当に驚きました。

「さすがほしぐみさんニ」年長になれば、こんな事ができるんだあと改めて感動しました。あるグループは、「るぎあ」と「パンダ」の2つにわかれた意見を、ジャンケンで決め、「るぎあ」に決まりました。その後、お当番になった時に、グループ名を「るぎあ」にしてもらった男の子たちから「机の形は、パンダにしよう！」という言葉が。(お弁当時にお当番さんが机を好きな形に並べます。)

なんてやさしい思いやりの言葉でしょう。こんな言葉が自然に出る子どもたち。うれしくて心があたたかくなりました。自分の気持ちを相手にうまく伝えること…。それだけではなく、相手がどう思っているのか、相手の気持ちも聞けること…。そのためにとことん話し合う…。とても大切な事です、大人の私たちにもなかなかできない事ですよ。

とことん遊んで、とことん楽しめるほしぐみ。時にはケンカもするでしょう。とことん怒って、泣いても大丈夫。そんな時には、みんなでとことん話しあおう。これから、もっともっとそんな経験を積み重ねて、かけがえのない幼稚園生活を、私もともに過ごしていきたいと思います。